

未来創造会議について

～ オール関西で万博レガシーを継承・発展 ～

未来創造会議について

未来創造会議の設置にあたって

オール関西・オールジャパン体制で、誘致、開催準備、そして運営に取り組んできた大阪・関西万博。とりわけ関西においては、素晴らしい万博を実現し、それを起爆剤に大阪・関西の未来を切り拓こうと、国のサポートも得ながら、経済界と自治体が議論を重ね、一丸となって歩みを進めてきた。

こうして迎えた2025年。万博は、多くの人々の思いと支えにより、有形・無形を問わず、多岐にわたる成果を結実させた。これらの成果を一過性のものとせず、確かな「レガシー」として守り、磨き上げ、次の時代へと引き継いでいく。そして、「いのち」をテーマとする万博を通じ一貫してめざしてきた、革新的技術や新たな価値の創造による持続的な成長・発展と、世界が直面する課題解決への貢献、さらには、大阪・関西のプレゼンスの向上。これらの実現につなげ、将来にわたって確固たるものとしていく。それが、万博を成功裏に開催した我々に課せられた、次なる重要な責務である。

このような認識のもと、引き続き関西が一丸となって、国の協力も得ながら、万博後の地域のあるべき未来像を、ともに考え、描いていく。その推進体制として、関西経済連合会、大阪商工会議所、関西経済同友会、並びに、近畿経済産業局、関西広域連合、大阪府、大阪市が相携え、「未来創造会議」を設立する。

未来創造会議について（イメージ）

《 「いのち」をテーマとする万博を通じてめざしてきた姿 》

持続的な
成長・発展の実現

世界が直面する
課題解決への貢献

大阪・関西の
プレゼンスの向上

未来創造会議

— オール関西が知恵を結集し、取組を決定・推進する体制 —

万博のレガシーを継承・発展させ、大阪・関西のあるべき未来像を実現

未来創造会議の構成について

- 未来創造会議は経済界・国・関西広域連合・大阪府・大阪市のトップで構成

未来創造会議の委員構成

松本 正義	公益社団法人関西経済連合会 会長【代表】
鳥井 信吾	関西商工会議所連合会 会長・大阪商工会議所 会頭【共同代表】
三笠 裕司	一般社団法人関西経済同友会 代表幹事
武田 家明	近畿経済産業局長
三日月 大造	関西広域連合 広域連合長
吉村 洋文	大阪府知事
横山 英幸	大阪市長
《オブザーバー》	
松山 泰浩	経済産業省 首席国際博覧会統括調整官

当面の取組について

- 当面は、国の成果検証委員会の議論も踏まえ、「最先端技術等の実装化」に向けたプロジェクトや支援方針等を決定し、推進するとともに、「国際イベント・交流等の継承・発展」、「夢洲におけるレガシー発信等」の取組状況の確認等を行っていく

最先端技術等の実装化・産業化

～ 万博で創られた「つながり」の活用 ～

- ✓ 万博で披露された**新技術等の実装化・産業化**について、**プロジェクト型の支援**を実施（次世代モビリティ、ライフサイエンス・ヘルスケア、カーボンニュートラル、スタートアップ・新事業共創ファーム等）

国際イベント・交流等の継承・発展

～ 万博を契機とした創造活動の深化・展開 ～

- ✓ 万博を機に開催された**国際イベント・交流等を継承・発展**させ、継続的に実施（スタートアップイベント、国際会議、海外都市等とのビジネス交流等）

レガシーの発信、広域観光促進

～ 万博で創られた「つながり」の活用 ～

～ 夢洲の「場の記憶」の継承・展開 ～

- ✓ **大屋根リングの一部を人が登れる形で残置**し、万博の記憶を後世につなげる情報発信のための記念館と、周辺エリアを含めて**記念公園として整備**
- ✓ 夢洲におけるレガシー発信の取組（記念館の展示、記念公園での文化交流イベント等）支援や、関西各地への誘客など広域観光の促進

未来創造会議の運営について 《運営委員会の設置》

- 未来創造会議(以下、「会議」)を運営し、その進め方や会議に諮る事項の課題整理などを行うとともに、会議で決定した取組を推進する団体として、「運営委員会(以下、「委員会」)」を設置する
- 加えて、将来にわたり、持続的に取組を推進していくための体制として、新たな法人設立に向けた検討を進める

所掌事務

- 会議の運営や、会議に諮る事項等の整理に関すること
- 会議で決定した取組の推進等に関すること 等

構成団体

(公社)関西経済連合会 【委員長】
関西商工会議所連合会・大阪商工会議所 【副委員長】
(一社)関西経済同友会
近畿経済産業局
関西広域連合
大阪府・大阪市

事務局

- 事務局を大阪市北区に設置し、事務局員には構成団体の職員をもって充てる

今後の進め方

- 第2回会議(R8年5月予定)に向けて、委員会において以下の課題について検討を行う

第2回会議に向けた検討課題

- 1 「最先端技術等の実装化」に取り組む分野やプロジェクトリーダー等について有識者・関係者等と協議・検討を進め、第2回会議で決定いただく（資料5で説明）
- 2 新たな法人設立に向けたスケジュールや、法人設立までの間に会議で決定いただく事項などについて検討・整理し、第2回会議で報告する
- 3 「国際イベント・交流の継承・発展」や「夢洲におけるレガシー発信の取組」等の今後の進め方について第2回会議で報告する